

# 渡去直前のオジロワシと出会う

2017年2月28日

小本街道を海岸に向かって走行する。中里を過ぎると「かもしかラーメン」の看板が飛び込んで来た。

その時、ハクチョウが田んぼに40羽ほど休息しているのを見つける。今シーズン、小本川は下流域と河口合わせても10数羽、これほどいる光景は珍しい。宮城県の伊豆沼周辺をほうふつさせる光景だ。バス停「中島」で車を止め撮影する、① ② その光景がこれ！

直進して小本海岸に向かう。期待する海ワシは見当たらない、ハクチョウは1羽も居なかった。③ ウミネコの集結を写し、そのまま堤防を走行する。なんと、突き当りに直進できる新道路が出来ていた。小本中学校の脇を通り、その先を左折すれば旧45号線に抜けるだろう、避難路？

直進せずに小本橋から林道に入る。実はこの林道は今日2回目である。それは明日3月1日に溪流釣りが解禁する、今シーズンのワシ見も今日で最後と考えて出かけてきたのだ。

しかし1回目は空振りだった。卒郡から中里間の田んぼ道があまりにも悪路のため、引き返すのに街道を利用したのだ、おかげでハクチョウに出会えた。

ハクチョウの集結の理由、8月30日台風10号の被害で田んぼは放置されたまま。残った稲穂にハクチョウが気づいたのだろう。災難で成り立っていた光景とは知らなかった、感無量だ！

時間調整もできた、2回目のワシ見に挑戦する。なんと先ほど居なかった止まり木にオジロワシ1羽いた。ヤッター！

④ 少し遠いがわがままはいえない、いそいで撮る。次に飛び出しを撮るためリリースを装着して枝を見る、居ない！ なんと飛び去った、残念！

渡去直前のオジロワシと会えた！ それで良しとしよう



①



②



③



④